

平成17年6月期 第1四半期財務・業績の概況 (非連結)

平成16年10月28日

会社名 株式会社 武井工業所
(URL <http://www.take21.co.jp>)

(コード番号: 5286 登録銘柄)

代表者役職 名 代表取締役社長
氏 名 武井 勇

TEL : (0299) 24 - 5216

問合せ先責任者役職 名 経理グループゼネラルマネジャー
氏 名 瀬川 孝男

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (無)

2. 平成17年6月期第1四半期財務・業績の概況 (平成16年7月1日～平成16年9月30日)

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切り捨て)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年6月期第1四半期	1,217	(10.1)	60	(-)	84	(-)	74	(-)
平成16年6月期第1四半期	1,354	(27.5)	129	(-)	152	(-)	162	(-)
(参考)平成16年6月期	7,380	(2.3)	5	(92.2)	51	(-)	175	(-)

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
平成17年6月期第1四半期	20	96	-	-
平成16年6月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)平成16年6月期	49	51	-	-

- (注) 1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。
2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
3. 前第1四半期の「1株当たり四半期純利益」「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、作成していないため記載しておりません。
4. 上記、四半期の数値は監査法人による監査は受けておりません。

[売上高に関する補足説明]

品種別の売上高は次のとおりであります。
なお、売上高につきましては、季節的変動が著しく、下期に集中する傾向があります。

(品種別の売上高) (百万円未満切り捨て)

区分	種別	平成17年6月期(第1四半期)		平成16年6月期(第1四半期)		平成16年6月期(参考)	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
製品	道路用製品	217	17.9	237	17.6	1,189	16.1
	水路用製品	389	32.0	424	31.3	2,075	28.1
	擁壁・土止用製品	104	8.6	124	9.2	630	8.6
	法面保護用製品	8	0.7	20	1.5	1,181	16.0
	その他	81	6.7	77	5.8	209	2.8
	小計	802	65.9	885	65.4	5,286	71.6
商品	コンクリート二次製品	177	14.6	259	19.2	1,132	15.4
	その他	197	16.2	187	13.8	836	11.3
	小計	374	30.8	447	33.0	1,968	26.7
工事		40	3.3	21	1.6	124	1.7
合計		1,217	100.0	1,354	100.0	7,380	100.0

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期において、当社の主たる事業分野であります建設関連業界におきましては、前期に引き続き公共投資の緊縮財政政策から依然、減少傾向に歯止めがかからない厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社はこの第1四半期において第2四半期以降、繁忙期に向けて顧客視点の業務推進を図り、社内体制の確立とともに売上増加を目的とする攻めの営業展開を推進中であります。

その結果、当第1四半期の業績は、売上高12億1千7百万円(前第1四半期比 10.1%)となりました。収益面につきましては、売上高の減少を製造人件費をはじめとする一般管理費等経費の削減効果によりカバーし、営業損失6千万円(前第1四半期は1億2千9百万円の営業損失)、経常損失8千4百万円(前第1四半期は1億5千2百万円の経常損失)、当第1四半期純損失7千4百万円(前第1四半期は1億6千2百万円の純損失)となりました。

(2) 財政状態の変動状況

(百万円未満切り捨て)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成17年6月期第1四半期	7,042	1,299	18.5	367 22
平成16年6月期第1四半期	-	-	-	- -
(参考)平成16年6月期	7,016	1,374	19.6	388 45

(注) 前第1四半期は作成していないため記載しておりません。

[キャッシュ・フローの状況]

(百万円未満切り捨て)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成17年6月期第1四半期	85	117	140	1,117
平成16年6月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)平成16年6月期	370	189	10	1,008

(注) 前第1四半期は作成していないため記載しておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

[キャッシュ・フローの状況]

当第1四半期における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローの増加8千5百万円、投資活動によるキャッシュ・フロー減少1億1千7百万円、財務活動によるキャッシュ・フローの増加1億4千万円となり、現金及び現金同等物は前年度末に比べ、1億8百万円増加し、第1四半期期末残高は11億1千7百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における営業活動の結果得られた資金は、8千5百万円となりました。この主な増加要因は、減価償却費7千万円、売掛金の早期回収による売上債権の減少2億5千6百万円等があったことのほか、主な減少要因は、第2四半期以降の繁忙期に向けて供給体制整備による棚卸資産の増加1億1千3百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における投資活動の結果使用した資金は、1億1千7百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出9千7百万円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期における財務活動の結果得られた資金は、1億4千万円となりました。この増加要因は、短期借入金による収入3億6千5百万円であり、減少要因としては、長期借入金の返済による支出2億2千4百万円によるものであります。

(注) 上記の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

3. 平成17年6月期の業績予想（平成16年7月1日～平成17年6月30日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間	3,100	210	215	-	-
通期	7,600	80	50	5	00

「参考」 1株当たり予想当期純利益（通期） 14円12銭

[業績予想に関する定性的情報等]

当社を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が継続するものと予測されますが、現時点では、平成16年8月23日に「平成16年6月期 決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想数値と変更はございません。

以上